

専門家総合対策コース(第2段階)申請書の添付資料

事業場名：特別養護老人ホーム 〇〇

STEP1 危険な作業の洗い出し

該当する全ての作業に☑を入れてください。

☒移乗介助 ☒入浴介助 ☐排泄介助 ☐食事介助 ☐送迎業務 ☐調理業務
☐その他 ()

該当する作業を一つ以上選択してください。

STEP2 リスクの見積もり

対象作業で想定されるリスクの内容(危険又は有害要因)を記入し、被災の程度・発生可能性・リスク評価に☑を入れ、リスクに応じた対策を記入してください。

○リスクアセスメント実施日 令和8年 8月 19日

リスクの内容 (想定される事故の内容)	被災の 程度	発生 の 可能性	優先度	対策
(記載例) 人の移乗作業において腰痛等を発症する。	☒ 重大 ☐ 中程度 ☐ 軽度	☒ 高 ☐ 中 ☐ 軽度	☒ 高 ☐ 中 ☐ 低	(記載例) 介護作業時における移乗介助の身体的負担を軽減する機器の導入(ノーリフト対策)
床面の段差につまづき転倒する。	☐ 重大 ☒ 中程度 ☐ 軽度	☐ 高 ☒ 中 ☐ 軽度	☐ 高 ☒ 中 ☐ 低	通路、出入り口などにもものを放置せず、整理整頓を徹底する。
利用者を抱え上げる際に腰痛を発症する。	☐ 重大 ☒ 中程度 ☐ 軽度	☒ 高 ☐ 中 ☐ 軽度	☒ 高 ☐ 中 ☐ 低	移乗介助時にはスライディングボードを活用する。

STEP3 職場ミーティング記録

○職場ミーティング実施日：令和8年 8月 25日

○参加者：施設長、介護主任、職員〇名

リスクアセスメント実施日以降の日付になります。

検討内容・主な意見

(記載例) 上記リスクアセスメントの結果について労働者に意見を聴いたところ、リスクが高く、危険だと思うため、安全対策は必要であると賛成意見であった。

リスクアセスメントの結果について、労働者からも「リスクが高く、危険だと思うため、安全対策は必要である」と賛成意見をえた。

※リスクアセスメント実施後に行った職場ミーティング(安全衛生委員会、定例会議、業務ミーティング等)の内容を記載してください。

※本欄に記載した場合は、様式1「リスクアセスメント結果及び安全衛生委員会等の結果等の内容」の欄への重複記載は不要です。

安全衛生担当者を必ず選択してください。

STEP4 安全衛生担当者

上記のリスクアセスメントと職場ミーティングを実施した事業場の安全衛生担当者の職を選択の上、氏名を記載してください(複数名記載可)。

☒安全管理者 ☐衛生管理者 ☐安全衛生推進者 ☐衛生推進者 ☐事業主(労働者数10名未満の場合)
氏名 〇〇 〇〇

☐安全管理者 ☐衛生管理者 ☐安全衛生推進者 ☐衛生推進者 ☐事業主(労働者数10名未満の場合)
氏名 _____

※本欄に記載した場合は、申請の様式1の「リスクアセスメントの実施者氏名・資格名及び安全衛生委員会等(定例会議、業務ミーティング含む)を開催した責任者の氏名、資格名」欄への重複記載は不要です。)

☒ STEP1 から STEP4 まで必要事項を全て記入したことを確認しました。

※ 記載漏れがないことを確認いただき、上記に☑を入れてください。

※ 補助金の申請に当たって、本書類を添付してください。

※ より詳細なリスクアセスメントの実施方法については、裏面をご参照ください。